

## 令和 6 年度新幹線鉄道騒音・振動測定結果

## 【要旨】

岩手県及び新幹線鉄道沿線の関係市町では、新幹線鉄道騒音・振動の状況を把握するため、新幹線鉄道音・振動の測定を実施しています。

騒音測定の結果、測定地点 22 地点のうち、8 地点で環境基準を達成しましたが、残る 14 地点で基準を超過しました（達成率：36%）。

なお、振動測定の結果、測定地点 18 地点すべてにおいて指針値を下回りました。

## 1 測定実施機関及び測定地点数

## (1) 測定実施機関

一関市、北上市、花巻市、矢巾町、盛岡市、岩手県

## (2) 測定地点数

騒音測定は、22 箇所、延べ 33 地点で実施した。振動測定は、18 箇所、延べ 18 地点で実施した(表 1 及び 3 頁参照)。

表 1 市町村別、騒音・振動測定箇所数及び距離別地点数

市町村名	騒音測定箇所数			騒音測定距離別地点数				振動測定 箇所数	振動測定地点数		
	I	II	計	12.5m	25m	50m	計		12.5m	25m	計
一関市	2	2	4	0	4	0	4	1	1	0	1
北上市	2	0	2	0	2	2	4	2	2	0	2
花巻市	1	4	5	0	5	4	9	5	1	4	5
紫波町	1	0	1	0	1	0	1	1	1	0	1
矢巾町	1	1	2	0	2	0	2	1	1	0	1
盛岡市	3	2	5	0	5	5	10	5	0	5	5
滝沢市	1	0	1	0	1	0	1	1	1	0	1
岩手町	1	0	1	0	1	0	1	1	1	0	1
一戸町	0	1	1	0	1	0	1	1	1	0	1
二戸市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	12	10	22	0	22	11	33	18	9	9	18

## 2 測定方法

騒音については、「新幹線鉄道騒音に係る環境基準について」（昭和 50 年環境庁告示第 46 号）及び「新幹線鉄道騒音測定・評価マニュアル」（平成 27 年環境省）に定める方法に従って、原則として軌道中心から 25m、50m 地点で連続して通過する列車を 20 本又は 6 時間程度測定し、測定騒音ピーク値の上位半数をパワー平均して、それぞれの地点の評価値とした。

振動については、「環境保全上緊急を要する新幹線鉄道振動対策について（勧告）」（昭和 51 年環大特第 32 号）に定める方法に従って、原則として軌道中心から 12.5m、25m の地点で連続して通過する列車を 20 本又は 6 時間程度測定し、測定ピーク値の上位半数を算術平均して、それぞれの地点の評価値とした。

### 3 測定結果

#### (1) 騒音測定結果の概要

「新幹線鉄道騒音測定・評価マニュアル」（平成 27 年環境省）において、基本となる標準測定点とされている 25m 地点における地域類型別の騒音測定結果の概要を表 2 に示す。

表 2 25m 地点における地域類型別の騒音測定結果

地域類型	区分	測定結果 (dB)	環境基準
Ⅰ 類型	最高	79	70 dB 以下
	最低	69	
Ⅱ 類型	最高	82	75 dB 以下
	最低	68	
全 体	最高	82	
	最低	68	

#### (2) 騒音に係る環境基準の達成状況

25m 地点における騒音に係る環境基準の達成状況を表 3 に示す。測定地点 22 地点のうち、8 地点で環境基準を達成したが、残る 14 地点では基準を超過した。

測定箇所ごとの測定結果及び環境基準達成状況を表 4（4 頁）に示す。

表 3 25m 地点における環境基準の達成状況

地域類型	測定地点数	達成地点	達成率
Ⅰ 類型	12	5	42 % (27 %)
Ⅱ 類型	10	3	30 % (41 %)
計	22	8	36 % (35 %)

備考) 達成率の ( ) 内は令和 5 年度の値である。

#### (3) 振動測定結果

振動については、すべての測定地点において「環境保全上緊急を要する新幹線鉄道振動対策について（勧告）」による指針値 70 デシベルを下回った。

別図 新幹線鉄道騒音・振動測定地点箇所

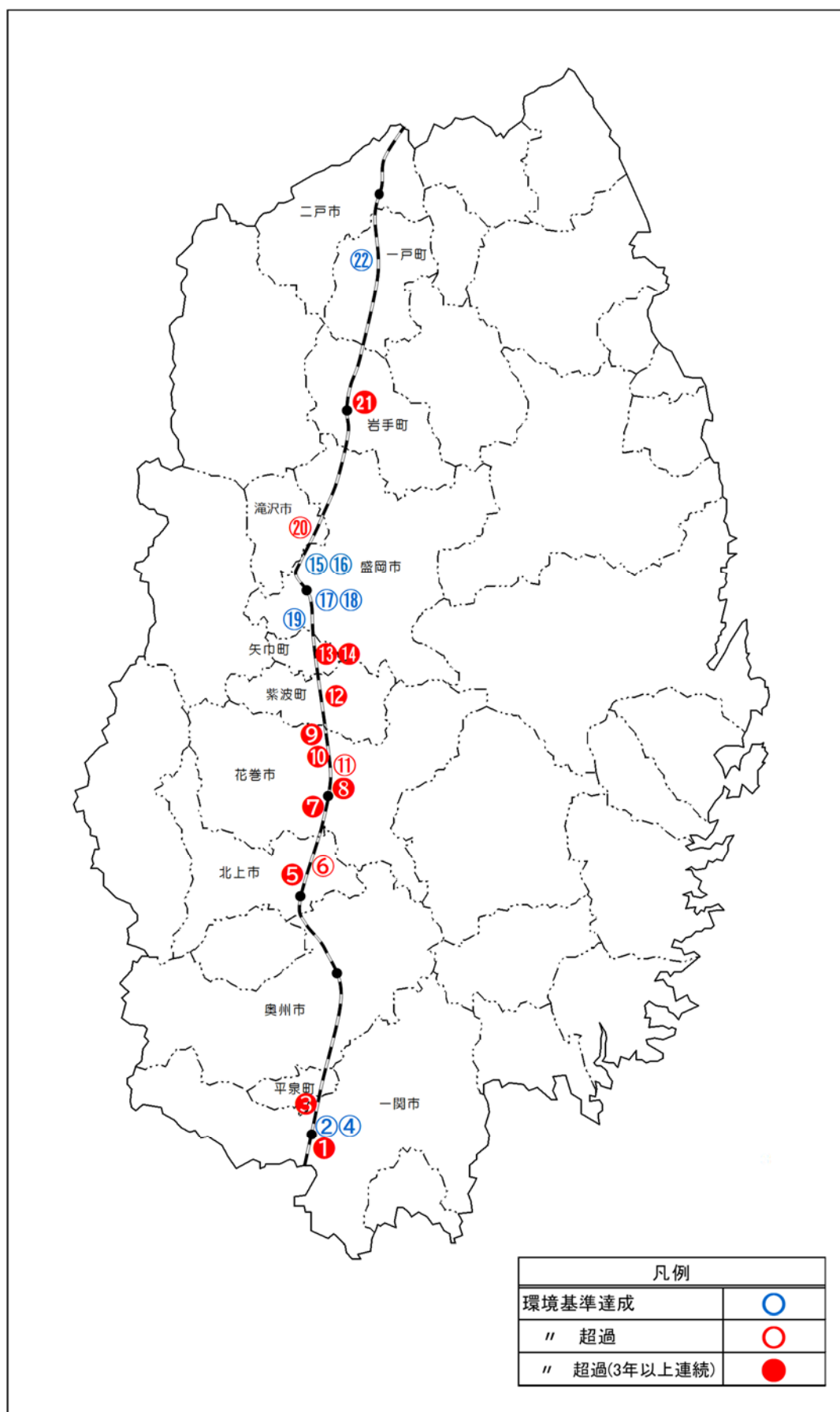


表 4 令和 6 年度東北新幹線鉄道騒音・振動測定結果表

番号	測定 月日	測定場所 (路線最寄り地点の 地名・地番)	用途 地域	類型	東京起 点の距 離kp	測定地点 側の軌道	列車 速度 (km/h)	構造物 の種類	軌道 面の高 さ (m)	軌道の 種類	防音 壁の 種類	防音 壁の高 さ (m)	測 定 結 果 (dB)						環境基準 達成状況	全測定 本数 (上り・ 下り)	測定 実施 機関		
													騒 音			振 動							
													12.5 m	25 m	50 m	12.5 m	25 m						
1	11/5	一関市 真柴字中田18	-	Ⅱ	404.4	上	311	盛土		スラブ	直壁	2			76	×					3年以上超過	20(9,11)	一関市
2	10/31	一関市 北豊隆12-1	1 住	Ⅰ	406.9	上	311	高架橋	10.0	スラブ	直壁	2			70	○					達成	20(8,12)	一関市
3	11/7	一関市 舞川字木戸22	-	Ⅱ	412.1	下	273	高架橋	6.2	パラスト	直壁	2			76	×					3年以上超過	20(10,10)	一関市
4	5/8	一関市 要害	1 住	Ⅰ	407.2	上	315	高架橋	15.5	パラスト	直壁	2			70	○			58		達成	20(11,9)	岩手県
5	5/2	北上市 孫屋敷7	2 住	Ⅰ	449.8	下	330	高架橋	7.6	スラブ	直壁	2			76	×	73	×	61		3年以上超過	20(8,12)	北上市
6	5/10	北上市 黒沢尻三丁目9	1 住	Ⅰ	450.3	上	303	高架橋	7.6	スラブ	直壁	3			74	×	75	×	53		超過	20(8,12)	北上市
7	11/8	花巻市 高松第 8 地割	-	Ⅱ	460.6	上	292	高架橋	5.2	スラブ	直壁	2			78	×	76	×		54	3年以上超過	20(10,10)	花巻市
8	11/11	花巻市 胡四王一丁目23	1 住	Ⅰ	463.6	下	306	高架橋	9.9	スラブ	直壁	2			79	×	75	×		53	3年以上超過	20(7,13)	花巻市
9	11/12	花巻市 石鳥谷町新堀7-76	-	Ⅱ	472.8	上	284	高架橋	5.9	スラブ	直壁	2			80	×	75	○		52	3年以上超過	20(8,12)	花巻市
10	11/13	花巻市 石鳥谷町新堀52-17	-	Ⅱ	470.4	上	284	高架橋	5.0	スラブ	直壁	2			76	×	72	○		49	3年以上超過	20(7,13)	花巻市
11	5/15	花巻市 矢沢第 7 地割	-	Ⅱ	464.8	上	331	高架橋	6.3	スラブ	直壁	2			77	×			60		超過	21(9,12)	岩手県
12	5/29	紫波町 日詰西5丁目	1 住	Ⅰ	479.7	上	310	高架橋	3.6	スラブ	直壁	4			77	×			53		3年以上超過	20(8,12)	岩手県
13	11/19	矢巾町 大字南矢幅12-7-55	1 住	Ⅰ	485.8	下	299	高架橋	14.0	スラブ	直壁	2			73	×					3年以上超過	20(11,9)	矢巾町
14	6/5	矢巾町 北矢幅第3地割	-	Ⅱ	486.8	上	303	高架橋	7.8	スラブ	直壁	2			82	×			60		3年以上超過	20(8,12)	岩手県
15	5/10	盛岡市 厨川四丁目	1 住	Ⅰ	503.0	下	292	盛土	2.0	スラブ	直壁	3			70	○	64	○		55	達成	11(4,7)	盛岡市
16	5/21	盛岡市 上堂四丁目	準工	Ⅱ	500.3	上	147	橋梁	12.0	スラブ	直壁	2			68	○	65	○		39	達成	12(4,8)	盛岡市
17	6/18	盛岡市 西仙北二丁目	1 住	Ⅰ	494.0	下	161	高架橋	12.0	パラスト	直壁	2			69	○	65	○		49	達成	20(8,12)	盛岡市
18	6/19	盛岡市 南仙北二丁目	1 住	Ⅰ	493.0	上	192	高架橋	12.0	パラスト	直壁	2			69	○	64	○		49	達成	20(9,11)	盛岡市
19	7/2	盛岡市 永井17地割	近商	Ⅱ	491.1	上	229	高架橋	16.0	スラブ	吸音壁	2			74	○	71	○		50	達成	15(6,9)	盛岡市
20	4/23	滝沢市 葉の木沢山	1 住	Ⅰ	506.2	下	215	切取	3.6	スラブ	直壁	3			71	×			53		超過	15(7,8)	岩手県
21	6/12	岩手町 五日市第10地割	1 住	Ⅰ	528.9	上	232	高架橋	7.6	スラブ	直壁	3			73	×			54		3年以上超過	16(7,9)	岩手県
22	6/13	一戸町 鳥越	-	Ⅱ	559.7	上	269	切取	0.4	スラブ	直壁	3.9			73	○			62		達成	16(6,10)	岩手県

備考 1) 測定結果の欄で、「○」は環境基準を達成、「×」は超過したことを表す。

備考 2)      は、標準測定点の25mにおいて環境基準を超過した地点を表す。